

令和6年度 第3回 宗像市健康づくり推進協議会 議事録

※発言者要点筆記にて作成

会議名称	令和6年度第3回宗像市健康づくり推進協議会
開催日時	令和7年3月21日（金）19：00～20：12
開催場所	宗像市役所 北館2階202会議室
出席者	平尾会長、梶田委員、富松委員、吉田委員、中谷委員、世戸口委員、緒方委員、石松委員、高崎委員、野中委員、小宮委員
欠席者	伊東副会長、今田委員、竹浦委員、村山委員
事務局出席者	【健康福祉部】林田部長、【子ども家庭センター】有吉課長、 【健康課】安川課長、山本主幹、倉富係長、荒牧企画主査、竹村主任保健師、椎葉企画主査
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 自己紹介 4 確認事項 （1）議事録の作成等について 5 議事 （1）会長および副会長の選出について 6 協議事項 （1）第2次健康むなかた21・第2次健康むなかた食育プランの評価について （2）アクションプラン策定に向けた指標の設定について 7 報告事項 （1）第2期宗像市自殺対策推進計画 パブリックコメントの報告について （2）健康づくり関連行事について 8 閉会
会議資料	次第 資料1 宗像市健康づくり推進協議会委員名簿 資料2 「第2次健康むなかた21」「第2次健康むなかた食育プラン」評価結果報告書（案） 資料3 市民意見提出手続（パブリック・コメント）の実施結果について 資料4 健康づくり関連行事 当日配布1 アクションプラン指標案
会議内容	
1 開会	健康課課長より開会の挨拶
2 委嘱状交付	机上交付 委嘱にあたり、健康福祉部長より委員へのお礼と挨拶
3 自己紹介	新任委員欠席のため省略
4 確認事項	（1）議事録の作成等について 議事録作成方法は、発言者ごとの要点筆記とすることが確認された

5 議事	(1) 会長および副会長の選出について 会長は平尾委員、副会長は伊東委員が選出され、了承された。
6 協議事項	(1) 第2次健康むなかた21・第2次健康むなかた食育プランの評価について (事務局より資料2のうち「第2次健康むなかた21」の評価について説明) 【質疑等】 委員 ・多岐にわたって指標が示されている。ほとんどの指標では令和6年度のデータが示されているが、13ページのがん検診精密検査受診率は、令和4年度のデータとなっている。なぜ他の指標と年数が違うのか。 事務局 ・13ページのがん検診の精密検査受診率のデータは、令和4年度が最新データである。精検結果のデータを追跡するため、健診が終わった2年後に結果を締め、国に報告をしている。国に報告するタイミングで集計を行っているため、令和4年度が最新である。 委員 ・インターネットでは、精密検査の受診者1,000人のうち2%ががんという結果が出ると書かれていた。精密検査の精度を知りたい。精密検査の受診者のうち、陽性の割合はどのくらいか。 事務局 ・全国の数値としては、がん検診の要精検者のうち、胃がん、大腸がん、乳がんの陽性率は、5～6%である。肺がんが1.5%、子宮がんが2.3%という結果である。そのうち、すべての健診を受診し、がんが見つかった割合はがんの種別において、胃がんが0.1%、肺がんが0.03%、大腸がんが0.15%、子宮頸がんが0.03%、乳がんが0.33%であった。 委員 ・宗像市のがんの陽性率を知りたい。 事務局 ・手元に資料を準備していないため回答ができないが、がん検診から精密検査と判定される割合や精密検査での陽性率の割合は、がん検診が適切に行われているかを評価する大切な数値となるため、経年的に数値は確認している。 委員 ・自地区コミュニティで、困りごとの調査を行った。その際、紙媒体でのアンケートはなかなか難しかったため、コンサルタントを雇い、地域の人を呼んで聞き取りによるアンケート調査をした。少数のデータではあるがその時の内容を元にして、令和7年度は全戸で紙媒体のアンケートを行う予定。今回行っているアンケートは集計などコンサルタントが行ったのか、どのようにしたのか。 事務局 ・委託事業者のコンサルタントであるよかネットに、アンケート調査の収集から集計、分析までお願いした。紙のアンケートを配布し、回答方法は、紙または、紙のアンケートにQRコードをつけ、回答者がスマートフォンで読み取り、WEBでも回答できる方法をとった。 委員 ・10ページの小学生や中学生を対象としたアンケートの中で、「栄養バランスのとれた食事をする人の割合」で主食、主菜、副菜を3つそろえた食事と書かれているが、アンケートの調査票には、説明となるイラストを載せて質問を行ったか。 事務局 ・アンケートでは、イラストは載せず、文章のみで質問を行った。

	委員 ・中学2年生はよいが、小学5年生が主食、主菜、副菜をイラストなしで理解できるかが疑問であった。次回のアンケートでは、イラストがあるとよい。 事務局 ・今後の参考にさせていただく。
	(事務局より資料2のうち第2次健康むななかた食育プランの評価について説明) 【質疑等】 委員 ・フレイルという言葉は浸透しているが、48ページで、オーラルフレイルという言葉は初めて聞いた。高齢者は該当する人が多いだろう。言葉を覚えてもらうために、周知してほしい。 会長 ・オーラルフレイルが原因となる誤嚥性肺炎はよく聞く。オーラルフレイルという言葉を知ってもらうことは大切である。 事務局 ・健康づくり、介護予防を取り組みの1つとして、高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を展開している。その中で、オーラルフレイル予防は重要であるため、市の職員である歯科衛生士が通いの場に訪れ、お口の健康に関することや、パタカラ体操を紹介し、市民にオーラルフレイルを知ってもらう活動に努めている。歯科医師会としても活動されていると思うが、委員から補足などあるか。 委員 ・オーラルフレイルは、わかりやすい日本語で言い換えると、口の虚弱である。口の筋力をつけるための方法として、あいうべ体操など様々な体操がある。 ・その他、口腔内乾燥を予防するために、唾液腺の刺激などがある。口腔内乾燥が原因で入れ歯が合わなくなるなど様々な問題が生じる。 ・高齢化で口腔内の衰えが起きてくるため、口腔内を刺激する方法など歯科を受診し、指導を受けることが大切である。 会長 ・59ページのグラフに、＜女性＞の表記を追加する必要がある。 事務局 ・資料の修正をする。
	(2) アクションプラン策定に向けた指標の設定について (事務局より当日配布1を説明) 【質疑等】 委員 ・「3歳児でう歯のない者」と書かれているが、「う歯」とはむし歯のことか。 事務局 ・「うし」と読み、むし歯のことである。 委員 ・専門家は理解できるが、一般には理解が難しいため、注釈があるとよい。 事務局 ・注釈を追加する。
	(1) 第2期宗像市自殺対策推進計画 パブリックコメントの報告について (事務局より資料3を説明)

	【質疑等】 ・なし。 (2) 健康づくり関連行事について (事務局より資料4を説明) 【質疑、意見等】 事務局 ・子ども家庭センターと文化スポーツ課で小学校低学年の子どもと親を対象とした、親子料理教室を開催し、春の野菜を使ったパスタなどを作る。Facebookに募集を掲載したところ、定員12組の予約がすぐに埋まったため、食育への関心が高いことが伺える。今後も食育の推進を続けていきたいと考えている。 会長 ・以上で予定していた内容は終了となるが、全体を通して、何か伝えたいことがある方はお願いしたい。 委員 ・評価結果報告書の8～9ページにある20～30歳代の女性のやせの割合について、20歳代女性は改善して良い傾向である。本学には女子学生が多く在学しているため、入学式後のガイダンス等で宗像市の現状を伝えていただければ、自分ごととして捉える機会となるだろう。その他、市の保健師や栄養士に来ていただければ、卒業後、市の職員として活躍することの理解に繋がるのではないかな。 ・高齢者の健康づくりの推進のところで、引きこもりや閉じこもりの話があった。宗像市は今後、国際のど自慢大会などを開催するという話を聞いている。本学の学生や教職員に向けて参加の声掛けがあった。今後もそのようなイベントへの参加の呼びかけを、学生に対して行っていただければ多世代交流になると思う。多世代交流を通して引きこもりの予防に繋がればよい。 会長 ・以上で、議題は終了とする。
8 閉会	健康課課長より閉会の挨拶

以上、議論終了